

環境中の放射能について

平成23年7月11日

環境管理課

○ 環境放射能水準調査の結果について

宮崎県では、文部科学省の委託を受けて昭和63年から環境放射能水準調査（降下物（※1）、空間放射線量率（※2）、水道水、茶その他農産物等）を実施しております。

このたび、県内の荒茶を測定したところ、放射性物質がごく微量検出されました。
検出された値は、厚生労働省が示した暫定規制値（※3）に比べて220分の1以下であり、飲用しても健康への影響はありません。

(単位：ベクレル/キログラム)

採取場所	採取月日	放射性物質の種類	測定値	セシウム合計
都城市	平成23年 5月6日	ヨウ素131 セシウム134 セシウム137	不検出 0.23 0.89	1.12
川南町	平成23年 5月7日	ヨウ素131 セシウム134 セシウム137	不検出 0.75 1.5	2.25
宮崎県の過去10年間 (平成12～21年度) の最小・最大値		ヨウ素131 セシウム134 セシウム137	不検出 不検出 0.53～1.8	0.53～1.8

測定分析機関：宮崎県衛生環境研究所

※1 降下物：地上に降下した大気中のチリや雨

※2 空間放射線量率：1時間当たりの空気中の放射線の量

(1時間その場所にとどまった場合に受ける量)

※3 暫定規制値

放射性ヨウ素 2,000ベクレル/キログラム

放射性セシウム 500ベクレル/キログラム